

平成28年度 学校経営の全体構想

学校課題

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る
- 進んで考え、自分の考えを筋道立てて表現する力を育てる
- 互いの良さを認め合い、助け合って生活しようとする心を育てる
- 進んで体を鍛え、健康な生活しようとする気持ちを育てる

学校の教育目標

よく考える子
はげまし合う子
たくましい子

垂井町教育指導の方針と重点

- 一人一人に「生きる力」をはぐくむ指導をする
- 学校・家庭及び地域が相互の連携を深める
 - ◇確かな学力の向上 ◇豊かな心の育成
 - ◇健やかな体の育成
 - ◇特別な支援を必要とする児童生徒への教育の充実

【めざす学校像】

地域から信頼され、地域に誇れる学校

【合い言葉】

笑顔で登校、感謝で下校

「一人一人が大切にされ、学ぶ喜び、共に活動する喜びを味わい、学校へ来るのが楽しいと思える子どもを育てる」

【学校経営の基本方針】

全職員の協力体制による活力ある学校づくりに徹する

めざす姿

- ☆ 基礎学力を身に付け、筋道立てて考え表現することができる
- ☆ 自分の考えをもち、仲間と共に学び合うことができる
- ☆ 学び方を身に付け、主体的に学習に取り組むことができる

- ☆ いつでもどこでも心が通うあいさつができる
- ☆ 相手の気持ちを考えた言動がとれる
- ☆ 心をこめてみんなのために行動できる

- ☆ めあてをもって進んで体を鍛えることができる
- ☆ 自分の役割や責任あることは最後までやり切ることができる
- ☆ 命の大切さがわかり、健康や安全に気をつけて生活できる

具現の場と方法

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得や定着を図る指導の工夫
 - ・ねらいを明確にし、目的に応じて展開を工夫した授業の実践
 - ・少人数学級を生かした授業の工夫
 - ・計算マスター・漢字マスターの継続による漢字・計算の力の向上
- 自分で考え、自分の力で解決しようとする主体的な学びへの工夫
 - ・課題の工夫、考え発表する内容・場の工夫、時間の確保
 - ・一人学びと仲間学びの工夫
 - ・辞書の活用
- 基本的な学習習慣の確立と学習姿勢づくり
 - ・話し方名人・聞き方名人、ノート展を通じた指導
 - ・家庭学習の習慣化（内容の工夫、保護者の理解と協力）

- 日常生活・児童会の取組
 - ・「伝統の矢」（あいさつ・栗っ子・思いやり）の実践
- 異年齢集団活動
 - ・「栗っ子活動」における思いやりのある言動の奨励（遊び・掃除・カルタ・長縄跳び等）
- 学級活動における話し合い活動による問題解決
 - ・仲間のよさ、成果の背景と原因の話し合い
- 全教育活動における人権教育の推進
 - ・「心の花」を咲かせよう、人権宣言
 - ・保小連携による活動
 - ・「ひびきあいの日」に関わる取組
- 伝統を守り、仲間と共に美しい表現を目指すマーチングバンド

- 一人一人にあった達成可能なめあての設定
 - ・健康や体力の変化を数量的に把握し、向上が実感できる工夫
 - ・体力の向上を図る場と時間の確保（体育授業・ランランタイム・ラジオ体操・朝活動・業間外遊びタイム・栗っ子遊び・運動会・持久走大会・長縄跳び等）
- 努力に対する認め・励ましを通して挑戦する意欲と自分に対する自信をもたせる指導
- 他者の生命を大切にし、自分の命を守る指導
 - ・「命を守る訓練」の工夫
 - ・交通安全無事故の更新（交通教室・登下校指導等）
 - ・うがい・手洗いの励行
 - ・眠育、食育、フッ化物洗口
- 児童会における安全な生活の取組

- 自立を目指す特別支援教育の推進
 - ・ひまわり学級と通常学級との交流及び共同学習の充実
- 努力や伸びに対する評価
 - ・一人一人の努力や伸びの認め・励まし（授業の中で、生活の中で）

家庭・地域社会との連携を深め、ふるさとを大切にする心を育てる

- ・地域行事への児童の積極的な参加（子ども会・青少年健全育成地区民会議・公民館・栗原地区町づくり協議会等）
- ・地域の先生からの学び
 - ・PTA・学校評議員の会・園・中学校・関係機関との連携

地域が誇る合原小学校

学校評価

- ・垂井町教育指導の方針と重点による評価（1, 2学期）
- ・自己評価：職員、保護者（1, 2学期末）
- ・学校関係者評価（PTA役員、学校評議員）
- ＊学校だより、HPによる結果の公表